日本中国語学会第 71 回全国大会プログラム

2021 年 11 月 6 日（土)、7 日（日）　二松学舎大学（オンライン）

Ⅰ．前日　　11 月 5 日（金）

16:00～18:00　　理事会（Zoom）

Ⅱ．第 1 日　　11 月 6 日（土）

10:15～11:45　　評議会（Zoom）

学会奨励賞授与

※今年度の学会奨励賞受賞論文はウェブサイト上で発表します。

13:00～15:25　　招待講演（Zoom）

司会　神戸市外国語大学　竹越　孝

1．中国語の共同研究と研究後継者育成の半世紀　東京都立大学名誉教授　佐藤　進

2.「官話」再考　京都大学　木津　祐子

15:35～17:35　　ワークショップ（Zoom）

“中文教学的设计与方法—高校师生的期待与现状”

司会　早稲田大学名誉教授　砂岡　和子

基于实践和研究的线上教学互动策略

ペンシルベニア州立インディアナ大学　刘　士娟

汉语技能课线上教学的现状与未来发展思考　北京语言大学　王　瑞烽

反思日本高校线上教学　早稲田大学名誉教授　砂岡　和子

以科技为媒介的教学设计——外语及观光学的 CBI 实践与评估

札幌国際大学　杉江　聡子

混合式教学环境下基本心理需求与学习投入的关系探析

関西外国語大学短期大学部　王　松

危机或转机?——日本大学师生对数位化汉语教学的信念与实践

早稲田大学（院）　王　怡人

※講演、ワークショップの聴講に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

夕方以降～11 月 14 日まで　　総会

※総会は学会ウェブサイトを利用した「見なし総会」の形式で実施します。

11 月 6 日（土）評議会終了後に総会資料と Slack ワークスペースの URL 情報を学会ウェブサイトに掲載します。11 月 7 日（日）～14 日（日）の期間中、総会用 Slack ワークスペースにおいてご質問やご意見を受け付けます。

Ⅲ．第２日　　11 月 7 日（日）

9:30～11:10　　分科会研究発表　午前の部（Zoom）

11:25～12:15　　ポスターセッション（Zoom）

12:15～13:00　　昼食・休憩

13:00～16:30　　分科会研究発表　午後の部（Zoom）

※分科会、ポスターセッションの聴講に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

●ポスターセッション　11:25～12:15（Zoom：Room PS）

1．近代新語“程序”と“手续”の形成と意味変化－言語接触の視点から－　愛知大学（院）　戸谷　将義

2．表位移的“到+NPL”结构中方位成分的使用条件分析　大阪大学（院）　李　梓嫣

※ 発表当日の追加資料配布は認めません。

※ 発表者は所定の時間内にミーティングルームから退出することはできません。

●分科会研究発表

■第 1 会場

9:30～11:10（Zoom：Room1-1）　司会　大谷大学　浦山あゆみ

儒家反音與悉曇反音——兼論唐宋韻書中紐聲反、雙聲反的消長　香港中文大學　蕭　振豪

文献の時空について：『字学呼名能書』を例に　國立政治大學　呂　昭明

论原始闽东区方言的*iai 韵　愛媛大学　秋谷　裕幸

13:00～14:05（Zoom：Room1-2）　司会　愛媛大学　秋谷　裕幸

原始北部吳語止攝合口三等白讀層與虞韻的構擬　東京大学（院）　蔡　子文

贛語入聲字讀邊音韻尾的現象與演變方式【有講評】　東海大學　陳　筱琪

14:50～15:55（Zoom：Room1-2）　司会　東京大学　吉川　雅之

イサーイヤ著『簡明中国語文法』におけるキリル文字音注について　神戸市外国語大学（院）　萩原　亮

『指南玉音解義』中のチュノムに関する研究　江蘇師範大学、大阪大学（院）　朴　愛華

■第 2 会場

9:30～11:10（Zoom：Room2-1）　司会　神戸市外国語大学　濱田　武志

从(交互)主观性的角度看绍兴方言的“V 带”“V 咚”“V 亨”　関西外国語大学　宋　天鴻

湖南邵阳方言的小称词[tsɛ]　中央学院大学　王　振宇

陕西渭南话中不定量表现“些”的助词化现象　名古屋大学（院）　高　谦

13:00～14:40（Zoom：Room2-2）　司会　二松学舎大学　戸内　俊介

荆州方言代词的新认识　神戸市外国語大学（院）　刘　凌霄

武汉方言后置附缀“得”的多功能用法考察　大東文化大学　趙　葵欣

湖北浠水方言多功能标记“得”及其语义图研究　武漢理工大学　楊　海峰

14:50～16:30（Zoom：Room2-2）　司会　東京都立大学　飯田　真紀

臺灣閩南語「準」的多重語法化【有講評】　臺灣師範大學　郭　維茹

台北市、台南市及廈門市閩南語地方通行語融合形成之比較分析　國立清華大學　陳　淑娟

台灣日治時期《語苑》中的閩南語疑問句構式　中原大學　許　婷婷

■第 3 会場

13:00～14:40（Zoom：Room3-2）　司会　大阪大学　王　周明

中古漢訳仏典における願望を表す“使/令”構文について　京都大学（院）　辛嶋　雲青

从使役到被动的两种路径　西安交通大学　丁　丁

清代满汉合璧教材中的被动句式考察【有講評】　神戸市外国語大学（院）　李　云

14:50～15:55（Zoom：Room3-2）　司会　中央大学　遠藤　雅裕

台灣客語塗抹類動詞之區辨性搭配詞位分析

國立清華大學　葉 瑞娟、葉 美利、黃 漢君、鄭 縈

客語動後成分「開」在歷史與現代文獻中的用法比較

國立清華大學　黃 漢君、葉 瑞娟、鄭 縈、葉 美利

■第 4 会場

9:30～11:10（Zoom：Room4-1）　司会　名古屋大学　盧　建

受領表現における“愿意”の使用条件について　岡山大学　石井　友美

“实现预测”与“变化预测”——表预测的“会”、“要”背后的认知动机【有講評】

東京外国語大学（院）　王　棟

“会…的”形式の生起条件及び語用論的機能について　関西学院大学　張　素娟

13:00～14:40（Zoom：Room4-2）　司会　富山大学　福田　翔

中国語の可能補語“V 得/不了（liǎo）”の意味機能——機能的分析を中心に

東京大学（院）　郭　嘉瑋

固执类语气副词“偏/非/硬”的语义及功能的差异　名古屋大学（院）　孟　醒

程度副词与反预期的视角——以“怪”为例【有講評】　大阪大学（院）　畢　鳴飛

14:50～16:30（Zoom：Room4-2）　司会　奈良女子大学　前田真砂美

主語なし“Vi 了我 NP”の意味機能　立教大学　李　菲

“V 他个 X”構文における V の漂白化と“他”の指示性　神戸市外国語大学（院）　張　玲

“个”的主观性标记功能【有講評】　名古屋大学（院）　薛　晨

■第 5 会場

9:30～11:10（Zoom：Room5-1）　司会　京都外国語大学　島村　典子

語気助詞“来着”の時間的機能について　穴原美智子

否定型差比句的语用类型　関西外国語大学　王　峰

換言標識と前後文の関係:“也就是说”と“换句话说”の比較【有講評】

名古屋大学（院）　龐　龍傑

13:00～14:40（Zoom：Room5-2）　　司会　岐阜大学　橋本永貢子

老舎の小説における「V＋O＋过」　長崎短期大学　青木　萌

基于语料库中与“了 $_1$”共现的动词特性的调查研究——以大数据思维为导向

お茶の水女子大学（院）　林　如

中国語におけるアスペクト助詞“了 $_1$”と“完”の交代性について【有講評】

お茶の水女子大学（非）　王　芸嬛

14:50～15:55（Zoom：Room5-2）　　司会　立命館大学　中西　千香

友人からの借金依頼場面における拒絶ストラテジー　長野大学　宮本　大輔

中国語の映像広告に見られる注釈表現について　新潟大学　干野　真一

※ 1 発表あたりの持ち時間は、発表 20 分、質疑応答 10 分です。【有講評】の場合は発表 15 分、講評 3 分、回答 7 分、質疑応答 5 分となります。

※ 各発表の間に 5 分間の休憩を設定してあります。次の発表者の準備のためにも必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

※ 発表当日の追加資料配付は認めません。

●分科会研究発表タイムスケジュール

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場	第 4 会場	第 5 会場
Zoom	Room1-1	Room2-1	—	Room4-1	Room5-1
司会	**浦山あゆみ**	**濱田武志**	—	**盧建**	**島村典子**
9:30～10:00	蕭振豪	宋天鴻	—	石井友美	穴原美智子
10:05～10:35	呂昭明	王振宇	—	王棟	王峰
10:40～11:10	秋谷裕幸	高謙	—	張素娟	龐龍傑
11:25～12:15	ポスターセッション（Zoom：Room PS）				
12:15～13:00	昼食・休憩				
Zoom	Room1-2	Room2-2	Room3-2	Room4-2	Room5-2
司会	**秋谷裕幸**	**戸内俊介**	**王周明**	**福田翔**	**橋本永貢子**
13:00～13:30	蔡子文	刘凌霄	辛嶋雲青	郭嘉瑋	青木萌
13:35～14:05	陳筱琪	趙葵欣	丁丁	孟醒	林如
14:10～14:40	—	楊海峰	李云	畢鳴飛	王芸嬛
司会	**吉川雅之**	**飯田真紀**	**遠藤雅裕**	**前田真砂美**	**中西千香**
14:50～15:20	萩原亮	郭維茹	葉瑞娟	李菲	宮本大輔
15:25～15:55	朴愛華	陳淑娟	黃漢君	張玲	干野真一
16:00～16:30	—	許婷婷	—	薛晨	—

※ 共同発表の場合は筆頭発表者のみを表示しています。

●書店展示

第 1 日：招待講演、ワークショップのそれぞれ開始前および休憩時間に動画を配信します（Zoom の画面共有によるリアルタイム配信）。

第 2 日：オンラインイベントツール「oVice」を利用してバーチャル書店展示を行います。会員同士の交流の場としても是非ご活用ください。利用時間は 9:00～17:00、出展参加各社のコアタイムは 12:00～13:00 です。利用方法は学会ウェブサイト上の「参加者マニュアル」をご覧ください。

※入室に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

●参加方法

今年度の大会への参加は会員のみに限定し、参加費は徴収いたしません。
参加に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

※ 講演、ワークショップ、分科会研究発表、ポスターセッションの Zoom ミーティングは、いずれも定員 300 名です。あらかじめご承知おきください。